



寺院名物シリーズ② 龍善寺鐘楼山門 (出雲組 慈雲山龍善寺)

慈雲山龍善寺の鐘楼山門は約270年前の江戸時代中期(寛保元年(1741年))地元工匠 原清八に依り建立された。この門は簡素で荒けずりをした素朴なもので、規模は小さいが、均整のとれた安定感のよい建物である。材質は構造部に檜を用いる。近郷にめずらしい江戸時代の代表的な建築物である。昭和61(1986)年4月～9月にかけて解体修理を行う。文化財指定はない。

山陰

編集 御同朋の社会をめざす運動
山陰教区委員会

発行 山陰教区教務所

〒690-0002 松江市大正町四三ノ一
本願寺山陰教堂

TEL 〇八五二 〇四七七
FAX 〇八五二 〇八三五一

発行者 野川大卓

ご挨拶

山陰教区教務所長 野川大卓

本年四月一日付をもちまして、山陰教区教務所長・本願寺山陰教堂主管を拝命いたしました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

昨年度、宗門においては五十年に一度のご勝縁であります「親鸞聖人七百五十回大遠忌法要」が出勤まりになりました。山陰教区からも凡そ六千人の方がご参拝されました。それぞれに親鸞聖人のみ教えにみちびかれて、阿弥陀如来のみ心を聞かせていただき、お念仏を申されたことと存じます。「感謝

また、本年度からは、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)が、あらゆる人びとが自他共に心豊かに生きることでできる社会の実現に貢献する活動として、宗門を構成するすべてのものが参画し、実践するとして、推進されました。この実践運動の目標を広く共有するため、総局は「総合テーマ」を掲げ、宗門全体で具体的に推進する「重点プロジェクト基本計画」を策定されました。この基本計画は、総合テーマをもとに、私たちが「実践目標」や「達成目標」などを設定し、成果を検証しながら推進していくもので、平成二十四～二十六年度の三年度計画です。

従来より行ってきたことでも、新たな枠にはめ込んでみると、今まで気づかなかったことが浮かんでくることもあると思います。逆縁ほどのことでなくても、歩みが変わった時、皆さまとともに阿弥陀如来のみ心を伝えひろめるお手伝いをプロジェクトを通してさせていただきます。

浅学菲才の若輩者でありますゆえ、責務を果たすことに不安を覚えますが、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

合掌

六十二名が参加!
 ～ほとけの子どもの集い～

四月四日(水)に鳥取因幡組の願正寺において「ほとけの子どもの集い」が開催されました。

受付の時間が近づくと続々と子どもたちが集まってきて、最終的に六十二名の子どもたちに参加していただきました。

願正寺のある鳥取県青谷町は和紙が有名であり、その和紙を使った式章づくりをおこないました。ちいさな子も教えてもらいながら頑張って自分だけの式章を作り、完成した式章を嬉しそうに首から下げている姿がとても印象に残っています。

午後から行われたウォークラリーでは高学年の子どもたちが低学年の子をまよめながら協力して地域ならではのクイズを解いていき、スタート時には緊張の様子が見られた子どもたちも、ゴール時にはみんなと打ち解けていた様子を見ることができました。

中・四国ブロック寺族青年野球大会

熱戦の二日間

― 地元開催に教区寺族野球部二チームが出場 ―

神門組 真宗寺 山陰教区寺族野球部

堀西雅亮

六月十三・十四日の両日、「中・四国ブロック寺族青年野球大会」が出雲・松江にて開催され、四教区五チームが参加しました。

地元開催に二チームを擁して

臨んだ山陰教区は、出雲ドームでの初日、まずBチームが十一対一で山口教区に快勝、続いてAチームも安芸教区に四対一で勝利。Bチームは続く四州教区との対戦で、最終回に三点差をはね返して逆転。しかしその裏四州教区の粘り強い反撃を受け、惜しくもサヨナラ負けを喫しました。

松江総合運動公園野球場に舞台を移した二日目はAチームが四州教区と対戦、初回二点を先制された後は互いに譲らず、二点差で迎えた最終回、Aチーム

打線が投手の踏ん張りに応えて逆転、三対二で接戦を制しました。この結果、山陰Aチームが見事優勝、Bチームは失点率により惜しくも四位に終わりました。

大会前の練習は決して十分ではなかったものの、実戦では年齢や経験の違いを超えて互いに声をかけ合いつつ各々が持ち味を発揮、また新メンバーも加わるなど、大きな収穫をいたした大会でした。そして何よりも、審判、場内放送をご担当くださった皆さんを始め、多くの方々のおかげにより自教区での開催を無事終了できたことに、お礼を申し上げます。有り難うございました。

勝敗に関係なく、良い親睦の大会となりました。

お仏壇・仏具は やっぱり京都・・・



伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) **若林**

www.wakabayashi.co.jp

京都本社 / 京都市下京区七条通新町東入
 ☎(075)371-3131 代 年中無休 ☎600-8218
 フリーダイヤル ☎0120-37-8585 (各店共通)

東京店・築地店・札幌店・仙台店
 近江草津店・福岡(営)・新潟(営)

E-mail info@wakabayashi.co.jp

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
 寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社 **古田た佛具製作所**

営業時間 / 午前9時より午後5時30分 定休日 / 日・祝日

〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)
 TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
 http://www.furuta-butstu.jp



ビハーラ山陰総会・研修会

二〇一二(平成二十四)年度総会・研修会が六月二十二日(金)山陰教堂教化センターにて開催されました。二十八名の参加でした(ビハーラ山陰の会員数は現在九十名)。午前は総会そしてその後、各地区のビハーラ活動状況について参加者相互の情報交換が行われました。午後

からは、本願寺派布教使で京都大学心の未来研究センター研究員の千石真理師より「老病死を受け入れて輝く生き方を」―浄土真宗と内観療法との関り―という講題でお話をいただきました。楽器と歌を取り入れて「プチ内観」について和やかな雰囲気での研修となりました。



―仏教婦人幹部研修会報告― 「自らが念仏者としての実践を！」

山陰教区仏教婦人会連盟 委員長 大森 仁子

この四月より山陰教区仏教婦人会連盟委員長を務めさせていただいております飯南組一念寺門徒の大森仁子と申します。大変な重責に身の引き締まる思いですが、皆様のご指導を仰ぎながら精一杯職責を果たしてまいる所存ですのでよろしくお願いいたします。

動を共にする友に出遇ったご縁に胸が熱くなる思いがいたしました。二日目は、お晨朝参拝から始まり、午前は前日に配属が決まった研修委員会に出席しました。いよいよ午後から「私のもつ役割」をテーマに幹部研修会が始まりました。まず仏教婦人会総連盟正田時子事務局長様より「宗

さて、六月十四日から三日間、本山で仏教婦人幹部研修会に参加しました。まず一日目は、総裁様ご臨席のもと開会式が行われた後、第一回評議員会が開催されました。北海道から鹿児島までの三十名の方と初めて顔を合わせ、これから三年間評議員として行

派本山の組織について」及び「仏教婦人会の活動について」の講義がありました。続いての「フリートークキング」では、車座に椅子を並べ替え参加者の顔が見えると、それまでの緊張が少し柔らぎ、活発な意見交換となりました。各教区の問題点や悩みを共有す

ることにより、これからの活動に大いに参考にすべきことが多い有意義な時間となりました。引き続き、仏教婦人会総連盟講師の西原祐治先生より「浄土真宗のみ教え」について、

苦しみからの解放という視点からご講義いただきました。夜の常例布教は自分の田中誠証師のご法話があり二日目終了しました。三日目は、宗祖月忌の晨朝法要参拝後、あいにくの雨模様の中でしたが、親鸞聖人ゆかりのご旧跡を参拝しました。

幹部研修会を終え、あらためて責任の重さを感じると同時に、このご縁に感謝し、「念仏に生かされるよろこびを行動へ」のスローガンを心に刻み、まず私自身が念仏者として日々の生活を過ごしていかなければと思うところです。

門徒推進員連絡協議会 二〇一二(平成二十四)年度 総会・研修会

門徒推進員連絡協議会
会長 上田 克夫

七月十四日、「山陰教区門徒推進員連絡協議会総会・研修会」が本願寺山陰教堂教化センターにて開催されました。

教区内門徒推進員が九十四名参加し、「御同朋の社会をめざす運動」について、仏法衰退時代、地域過疎化に門徒推進員に期待されるものというテーマで研修しました。

講師は備後教区より元本願寺研修部長の小滝了信先生をお迎えし、連研の歴史や門徒推進員としての自覚などの問題提起を講義してくださいました。

先生は庄原市で「絵とぎの館」を運営されておられ、山陰教区からもたくさんの方が見学に行かれておられ再会の一場面もみられました。

総会では平成二十三年度事業報告及び決算報告ならびに平成二十四年度事業計画及び予算案について協議されました。

実践運動の基本理念を踏まえ、更に門徒推進員としての意識を高める次第であります。

第四連区 青年布教使研修会

益田組 善正寺
齋藤 友法

私は、六月二十六・二十七日に備後教区で行われました、「第四連区青年布教使研修会」に参加させて頂きました。そして実演布教もさせて頂きました。事前に若手の僧侶有志で練習をして向かったのですが、緊張と慢心があつて当日の本番ではポロポロの結果でした。こんな中々ない貴重なご縁でしたのに反省の言葉しかありませんでした。終わって先輩の布教使の方から、「これからが本番でこの反省を次どのように活かすかが大切であり、その事を教わったご縁が今日じゃないか」と言われました。本当にこの研修会で様々な事を学びました。日頃の健康面も含めて、何が大切かを痛感しました。

これからも至らぬ点があるとは思いますが、この研修会での事を思い出しながら日々精進してまいりたいと思います。

「子育てとお育て」の講話に気づかせられ

— 山陰教区若婦人研修会に参加して —

佐波組 浄土寺 西原 華林

山陰教区仏婦連盟若婦人研修会がこの度七月十五日(日)に島根県大田市波根の立善寺を会所にして行われました。私も四歳の息子がいるのですが、託児があるということでも安心して、ご門徒の若いお母さんも誘って、一緒に参加させて頂きました。なかなか若いご婦人は誘いにくいものなのですが、この度は、本願寺派布教使で、ラップシンガーでもある村上元先生の親しみやすいお話と、各地でご活躍されている、新感覚ライブペーパーストーリーという名の紙芝居でおなじみの「よしととひうた」さんたちのライブがあるということ、みなさまを誘いやすく、そしてそのお若いご婦人方々も興味を持ってくださいました。託児という支援があるということが、家に閉じこもらざるをえない母親たちにもお聴聞させてもらえる機会を与えてくださり、大変有難く、また子連れでも少しにぎやかでも大目に見てもらえる雰囲気があり、大変有

難かったです。

村上元先生のご法話の講題は、「子育てとお育て」でした。日ごろ子育てをしながら、それを通じて私たちが自身が阿弥陀様にお育ていただいていることに気づかさせて頂いた、ということを先生の坊守様とのほほえましい会話を例に披露いただきました。そして涼しく快適な昼食をフルートと御住職の弾かれるピアノ演奏によるクラシックを聴きながら普段感じることのできない優雅な気持ちでいただきました。

子どもたちが待ちに待った午後「よしととひうた」のライブでは、前席を独占した子どもたちの目が釘付けになるすばらしい語りと音楽による紙芝居、ユーモアを交えながら、飽きさせることなく、食べ物の大切さ、自然の大切さなどを学んだことでしょうか。かといって、喜んだのは子どもたちだけでなく、大人もホロリとするなつかしい風景の紙芝居もあり、みなさんがとても大満足の充

実した研修会の一日となりました。話し合いとまとめのお話の席では、お待たせ、ご講師のラップも披露され、目を白黒させている元若婦人のかたもおられ、みんな大喜びでした。立善寺のご寺族の皆様、ご門徒の皆様、大田東組をはじめ、石東ブロックの仏婦会員の皆様、本当に色々お世話になりました。このご恩を忘れずに、これをご縁にますます聞法につとめ、お念仏のよろこびを伝えていくお手伝いを私もさせて頂きたいと思えます。

御本山  用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055
(600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367 (代)
FAX (075) 371-5088

猛暑の中、百二十名が参加し研修 中・四国ブロック まことこの保育大学講座 開催

山陰教区保育連盟 理事長 西谷正文

七月二十三日・二十四日松江東急インを会場に、第三十七回中・四国ブロック「まことこの保育大学講座」が開催されました。山陰教区保育連盟は現在十園が登録していますが、その小さな組織を挙げて、百二十名余りの参加者をお迎えしました。

初日は、大阪から絵本作家の長谷川義史さんにお越しいただき、二つの研修を行いました。

まず絵本ライブ「こどもたちGO!」がありました。長谷川さんが、ご自身の作品である絵本を読みながら、その作品の背景や、込められたメッセージをお話し下さいました。間では、模造紙に墨と筆で絵を描きながら、落語『素人鯉』を語って下さいました。この時の絵は、後でプレゼントの景品となりました。また、ウクレレを弾きながら、歌も聞かせて下さいました。普段子どもたちに読み聞かせをしている絵本の原作者から、直接思いを聞かせていただき、有意義な時間となりました。

次は、参加者自身が持つてきた、自分にとっての「とっておき」の絵本を使つての研修でした。なぜ「とっておきなのか」を紹介した後、お互いに読み聞かせをしました。そして

最後に、長谷川さんから、総括をしていただきました。これまであまりなかったスタイルでの研修で、新鮮な印象がありました。

二日目は、仏典童話作家の野呂利(さかん)さんのお話でした。花岡大文学先生に師事された野呂さんは、仏典童話を通して何を伝えたいのかを心を込めて語って下さいました。この「心を込めて」することの他、美しく、正しく、相手をしあわせにする言葉を用いること。よいもの、正しいものを求めて生き、常に反省し学び、新たなものを生み出す努力をすること。これら三つの妙行こそが、あるべき人間の理想であり、仏典が説いている精神である、と教えていただきました。

外は猛暑の松江でしたが、涼しい室内で、爽やかなお話しと出会いのあった二日間でした。



義父の言葉に一瞬会話が止まり、頭の中は？と！が交互に飛び交った。妻との結婚を決め、意を決してあいさつに伺った時の事です。彼女は三人姉妹の長女、しかもお寺の。当初私の気持ちの中には「お寺」に入る事などほんのかけらもなかったもので、「話を持ち帰って父母と相談させて下さい。」そう言つてその場を後にしました。あれから四年。

(帳) (楽) (憂)

「お寺に入ってほしい」

寺正善 組者伯取 司泉妙

知らない状態から中央仏教学院に入学し、一年間勉強させていただきました。

中仏での一年間は当初つらい修行を想定していたのですが、実際には新しい事に出会えた喜びで、毎日が楽しく過ごせました。この理由は周りの人々に支えていただいた事が非常に大きかったと感じています。寮生活を共に過ごした学友達、先生方、そして離れて暮らす家族、門徒の皆さん。たくさんの人々が私を支えてくれているという安心感があったからこそ、そと今思うのです。そして、出遇えたのが浄土真宗です。

か。『南無阿弥陀仏』のお念仏一つでいいよ、と言ってもらえた事は、お寺に入るにあたり、私にやっといけるだろうかという不安を取り除き、私を変えてくださったように思います。これからこのお念仏と共に門徒の皆さんと歩んでいけたらと思っています。本当に、本当に有難い事です。

時が過ぎ十月には継職法要を予定しています。私がお寺に入る前の知識は、修行の毎日、肉・魚は食べない、ボウズ頭、と絵に描いたような無知ぶりでした。実家は神道でしたので仏教の行事的な事や儀式などはほとんど頭の中にはありませんでした。浄土真宗のみ教えなど全く

御同朋の社会をめざす運動(実践運動)について

宗門では、本年四月一日より、これまでの基幹運動推進の成果を踏まえ、「宗制」に掲げる基本理念を体し、あらゆる人びとが「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」活動として、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)を推進しています。この実践運動について、現在山陰教区では、次の通り推進しています。

- 「教区会」
期日 平成二十四年三月十六日(金)
場所 本願寺山陰教堂
内容 「御同朋の社会をめざす運動」山陰教区委員会設置規則(区令)の制定
- 「御同朋の社会をめざす運動」山陰教区委員会設置規則(区令)の施行
期日 平成二十四年四月一日より
- 「第一回教区実践運動委員会」
期日 平成二十四年四月二十四日(火)
場所 本願寺山陰教堂
議題 委員長、副委員長、常任委員、中央委員会委員の選出
- 「第一回教区実践運動常任委員会」
期日 平成二十四年六月十九日(火)
場所 本願寺山陰教堂
議題 実践運動組織編成家・部会制度・担当制度・各種研修会連絡会の開催について
- 「組長会」
期日 平成二十四年七月三十日(月)

実践運動山陰教区委員一覧

自:2012(平成24)年4月1日 至:2014(平成26)年3月31日

組名	寺院名	実践運動委員	部会	備考
1 大田中組	満行寺	小笠原寧之	—	副委員長
2 松江組	西宗寺	高野顯信	—	副委員長
3 邑智東組	西林坊	澤田隆崇	同朋社会部会	常任委員(中央委員)
4 大田西組	願楽寺	藤谷崇文	同朋社会部会	常任委員
5 出雲組	成福寺	本多昭人	同朋社会部会	
6 大田中組	安養寺	寺大草真	同朋社会部会	
7 佐波組	法光寺	大非篤史	同朋社会部会	
8 川本組	信楽寺	渡辺哲彦	同朋社会部会	
9 浜田組	真行寺	岳田忍司	同朋社会部会	
10 浜田組	順興寺	佐々木智則	同朋社会部会	
11 益田組	光雲坊	西池文生	寺院活動支援部会	常任委員
12 鳥取因幡組	光賢寺	北島清秀	寺院活動支援部会	常任委員
13 神門組	乘光寺	上克三	寺院活動支援部会	常任委員
14 神門組	長泉寺	竹下克三郎	寺院活動支援部会	常任委員
15 出雲南組	専正寺	舟谷幸男	寺院活動支援部会	
16 松江組	勝願寺	西谷正文	寺院活動支援部会	
17 出雲組	源光寺	佐和田裕	寺院活動支援部会	
18 飯南組	西正寺	大森仁子	寺院活動支援部会	
19 飯南組	一念寺	松浦英由	寺院活動支援部会	
20 大田東組	真浄寺	荒本由未	寺院活動支援部会	
21 大田西組	西臨寺	泉原省三	寺院活動支援部会	
22 大田西組	龍蔵寺	吉川恭頌	寺院活動支援部会	
23 千須賀組	永照寺	波北恭頌	寺院活動支援部会	
24 江津組	光善寺	福原純孝	寺院活動支援部会	
25 鹿足組	善正寺	日溪清毅	伝道広報部会	常任委員
26 神門組	正蓮寺	瑞光倫浩	伝道広報部会	常任委員
27 邑智東組	真清寺	田中宣隆	伝道広報部会	常任委員
28 三隅組	浄門寺	菅原昭生	伝道広報部会	常任委員
29 大田西組	西楽寺	菅原昭生	伝道広報部会	
30 鳥取因幡組	浄宗寺	片上義明	伝道広報部会	
31 鳥取伯耆組	香宝寺	上杉信成	伝道広報部会	
32 出雲南組	福泉坊	藤井哲真	伝道広報部会	
33 大田中組	玉泉寺	小笠原弘之	伝道広報部会	
34 川本組	福泉寺	松林茂	伝道広報部会	
35 邑智西組	願入寺	日高秀憲	伝道広報部会	
36 鹿足組	誓立寺	朋澤智弘	伝道広報部会	
37 江津組	浄光寺	能美顯之	伝道広報部会	

- 場所 本願寺山陰教堂
議題 実践運動概要説明・組実践運動実務内容依頼
- 「第一回実践運動正副委員長・中央委員会委員会」
期日 平成二十四年八月二十三日(木)
場所 本願寺山陰教堂
議題 内規原案、総合基本計画原案、重点プロジェクト策定原案、等
- 「公聴会」
期日 平成二十四年九月十一日(火)
場所 本願寺山陰教堂

- 「第二回教区実践運動常任委員会」
期日 平成二十四年九月十三日(木)
場所 本願寺山陰教堂
議題 内規案、総合基本計画案、重点プロジェクト策定案、等
- 「第二回教区実践運動委員会」
期日 平成二十四年九月二十五日(火)
場所 本願寺山陰教堂
議題 内規、総合基本計画、重点プロジェクト策定
- 「宗派へ、教区総合基本計画、重点プロジェクトを報告」
期日 平成二十四年九月二十八日(金)

以下、教区実践運動委員会委員は左記の方々です。

親子で読んでほしい
有福の善太郎
好評発売中! 1冊800円(税込)

妙好人有福の善太郎さんのお話が親子で読んでいただける本になりました。寺院様をはじめ、ひろく門徒様、ご家族でお願いいたします。ご注文は下記の電話かFAXにて承ります。



ハーベスト出版 〒690-0133 松江市東長江町902-59
TEL(0852)36-9059 FAX(0852)36-5889
株式会社谷口印刷 〒690-0133 松江市東長江町902-59

JTB Your Global Lifestyle Partner
株式会社JTB中国四国
松江支店

住所: 〒690-0003
島根県松江市朝日町480-8 松江SKYビル1F
TEL: 0852-23-2020(国内旅行) / 23-2024(海外旅行)
0852-23-6720(団体旅行)
FAX: 0852-23-2023

山陰教区行事 予定及び報告

9月25日

部 門	行 事 名	期 日	会 場	講 師	参加者	
仏教壮年会	総会・研修会	4月22日	本願寺山陰教堂	高橋哲了師	99名	
	ブロック研修会	今年度に限り30周年 記念大会の為中止				
	鳥取地区					
	出雲地区					
	石見地区					
	教区連盟結成30周年記念大会	11月4日	くにびきメッセ	松月博宣師	①175名	
	連区連絡協議会	9月1日	大田あすてらす	なし		
単位会結成に向けた研修会(中・四国)	9月2日	大田あすてらす	藤井邦麿師	18名		
会報「社創」発行	今年度発行予定					
仏教婦人会	仏婦	教区仏婦連盟総会	5月11日	松江テルサ	天岸淨圓師	400名
		仏教若婦人研修会	7月15日	大田東組 立善寺	村上 元師	101名
		実践運動婦人研修会	未定			
		中・四国仏婦大会	10月14日	広島別院	都路恵子師	19名
		仏教婦人幹部研修会	6月15日・16日	本 山	西原祐治師	大森委員長
		若婦人中央研修	11月24日・25日	本 山		2名
		総連盟総会	4月19日	本 山	花岡静人師	12名
	寺婦	寺族婦人研修会	9月12日	三隅組専称寺	武田正文師	57名
		寺族若婦人研修会	2013年2月28日	出雲組源光寺	小林顯英師	
		研修旅行(隔年)	なし			
会報「寺族婦人のひろば」発行	10月発行	—	—	—		
青少年	少年	総会・研修会	4月27日	本願寺山陰教堂		14名
		指導者研修会	8月24日	江津組光善寺		
		少年連盟中央研修会	7月10日・11日	本願寺開法会館		
		中・四国ブロック指導者研修会(大遠忌法要のため延期)7月4日・5日		広島アルセ		割当人数10名
		ほとけの子どもの集い	23年度(4月4日 鳥取因幡組願正寺)			62名
		広報紙「はばたき」発行	発行予定			
	保育	まことの保育大学講座(連区)	7月23日・24日	松江東急イン	野呂 昶師 長谷川美史氏	125名
		第1回まことの保育合同セミナー	6月20日・21日	築地本願寺	汐見稔幸氏 吉田正幸氏 海谷則之師	4名
		総会・理事会	5月15日	本願寺山陰教堂		6名
		教区まことの保育入門講座	本年度休止			
	仏青	全国真宗青年の集い	7月28日・29日	(四州教区)丸亀市 民会館	釈徹宗師他	8名
		第58回中央研修会	2013年3月27日～29日	本願寺開法会館		
		仏青ブロック研修会	本年度休止			
		教区の集い	未定	本願寺山陰教堂		
		第61回本山成人式	2013年1月13日	本山		
	寺青	第35回全国寺族青年軟式野球大会	9月26日・27日	京都府立運動公園		13名
		中・四国地区寺族青年野球大会	6月13日・14日	出雲ドーム・松江運 動公園		25名
	キッズサンガ	キッズサンガ・サポーター研修会	未定			
	勤式	法務員・特別法務員研修会	未定	本願寺山陰教堂	未定	

2012 (平成24) 年度

部 門	行 事 名	期 日	会 場	講 師	参加者	
御同朋の社会をめざす運動教区委員会	実践運動推進委員会 (総会) (役員選出)	4月24日 (火)	本願寺山陰教堂	—	27名	
	同上 (組織について)	9月25日 (火)	本願寺山陰教堂	—	25名	
	同上 (次年度計画)	平成25年2月～3月頃	本願寺山陰教堂	—		
	ブ ロ ッ ク	5ブロック連絡会 (ブロック開催)	本年度休会		—	—
		同朋僧侶研修会 (組、ブロック開催)				
		門信徒会運動研修協議会 (組、ブロック開催)				
	連 研	連研のための研究会	未定			
		連研履修者研修会				
	矯 正	矯正教化連盟広島支部総会	6月29日 (金)	広島別院	—	1名
		矯正教化連盟広島支部 (教誨師) 研修会	2月頃	山口教区担当	未定	
広 報 出 版	教区報「山陰」発刊 1000部 (123号、124号、125号)					
	ホームページ「山陰教区」 http://www.saninkyoku.net					
	妙好人カレンダー発行 (20000部)	10月上旬発行	—	—	—	
社 推 協	社 推	各施設カレンダー配布	配布中 (申込11月末まで)			
		連絡協議会	開催日未定	本願寺山陰教堂		
	ビ ハ ー ラ	ビハーラ第4連区連絡協議会	4月23日～24日	広島別院 (備後教区担当)	なし	渡邊会長
		ビハーラ山陰総会	6月22日	本願寺山陰教堂	千石真理師	28名
		ビハーラ活動第4連区集会	10月4日～6日	かんぼの郷庄原 (備後教区担当)	和泉唯信師	11名
		ビハーラ講座	2月上旬			
僧 侶	僧侶研修会	8月29日・30日	出雲市民会館	安藤光慈師	29日68名 30日60名	
	勤式講習会 (僧侶研修会と併修)	同上	同上	能美顕之師	60名	
門 推 協	総会・研修会	7月16日	本願寺山陰教堂	小滝了信師	94名	
	実践運動研修会	2013年3月上旬	本願寺山陰教堂			
	第4連区門徒推進員研修協議会	10月13日・14日	山口教区担当	巖后範之師		
	門徒推進員の集い (本山)					
	会報「ともしび」第13号発行、900部	2013年3月発行予定				
布 教 団	総会・研修会	5月9日	本願寺山陰教堂	安部睦美師	46名	
	地区別布教大会	2013年2月26・27日	鳥取ブロック			
	青年布教使育成教区研修会	2013年2月12日	江津組光善寺	小林顕英師		
	第4連区布教使研修会	8月28日・29日	オークラホテル高松 (四州)	徳永一道師	12名	
	第4連区青年布教使研修会	6月26日・27日	アルセ (備後)	徳永道雄師	10名	
	全国布教使大会	なし				
	寺院振興「ともしび法座」(11年目)					
総 代 会	総代研修会 (鳥取)	11月20日	鳥取因幡組光輪寺	隼田真生師		
	総代研修会 (出雲)	12月19日	出雲市民会館	隼田真生師		
	総代研修会 (石見)	12月20日	浜田組覚永寺	隼田真生師		
	全国総代会/連区研修会 (協議会)					



宮商和して…

大田東組長 松村淳真

このたびの組画編成によって大田東組は、旧三瓶・大田・石東三組からなる四十二ヶ寺のサンガ集団になりました。

大田地域は報恩謝徳に篤い土地柄で、僧侶による研修と教化に参画する「宣教会」篤信の門信徒によって運営される「一乗会」は、ともに聴聞の場を提供し続けて一世紀前後の歩みを続けています。新たな実践運動には、全員聞法が掲げられ従来の聴聞のスタイルにとどまらず「見聞型」の企画が求められます。

IT社会に生活する世代は体験や映像を媒体に関心を抱くため、次世代にどう伝えていくのか工夫が必要です。

一方、僧侶の側にも幾多の事情がありどれほどの歩み止まりで、共に参画できるテーマが描けるのか探るべき課題があります。組では「開かれたお寺たれ」を基軸に全ての活動をすすめるようとしています。事を荒立てず収めることを美德とした時代から、いまは住職が事案にどんな寄り添い方と振る舞いをするか見られています。組は身丈にあった活動で

歩み出せば、宮商和して自然な形の見えるかもしれません。

以下私見放言です。

現時点で核のゴミ解決の技術がないことや、度を越したいじめ問題に顕著ですが、保身と責任逃れのためなら「悪をもおさるべからず」を逆手にとる世相に無関心ではいられません。

親鸞聖人は「造悪無碍」を厳しく批判されアジャセの懊悩の末、「無根の信」の表明と常行大悲に生きる覚悟を観て、悪人正機の救いを説かれた歴史の事実を正しく伝えたいものです。

自らの業縁に背を向け、たれの言葉も聞こうとしない者に、本来の救いも解決もあろうはずありません。童謡の雀の学校でも「鞭をふりふり」教え込むではありませんか。

この際法律は少年であっても信賞必罰に振り子をふる潮時でしょう。重大な出来事の真相を隠し繰り返し、かつ潮目の変わりを待つ権力側のやり方は、念仏弾圧の承元の法難の頃と、上も末も構造は変わらないことが知れます。

二〇一三平成二十五年度
山陰妙好人カレンダー
「源左・才市・善太郎」

好評発売中！ 残部少なくなりました。
ご注文はお早めにお願ひ致します。

編集後記

この度、編集委員を留任することとなり、編集後記を書いています▼親鸞聖人の著述を恒星とするならば、教区報はさながら、通信衛星のようなものかもしれない。大切な役割を担って生まれた、人工衛星▼しかし、いかんせんその電波技師の一人が私では、電波を拾うのも飛ばすのもあさつての方向で「宇宙人」でも交信してるのかなとなりかねません▼常に恒星（親鸞聖人）を見失うことなく、伝えるべき事を受信し、的確に送信出来るようであれば、せっかく皆で打ち上げた衛星（教区報）を損なうことになります。電波技師を続けるなら、もっと腕を磨かねばいけない、と思う今日この頃です。

『信頼からコミュニケーション』

団体参拝のご計画はお気軽にご相談ください。

株式会社近畿日本ツーリスト中国四国 山陰支店

〒690-0887 松江市殿町517 ☎(0852)22-4893